

令和5年9月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	令和5年9月27日(水) 午後1時30分		
場 所	市庁本館3階 議会第3委員会室		
出席者	教育長	齋藤	信哉
	教育委員	油川	育子
	教育委員	小瀬川	喜井
	教育委員	福井	武久
	教育委員	西山	康巳
事務局出席職員	教育部長	八木田	満彦
	教育部次長兼教育総務課長	鈴木	伸尚
	教育部次長	熊谷	誠二
	博物館長	小保内	裕之
	学校教育課長	寺井	健司
	教育指導課長	梅内	太郎
	社会教育課長	高橋	宣子
	是川縄文館副館長	松橋	広美
	総合教育センター所長	河村	雅庸
	こども支援センター所長	田端	修文
	図書館副館長	磯嶋	奈都子

開 会

(齋藤教育長)

定刻となりましたので、令和5年9月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、小瀬川委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

主な会議・行事等

(齋藤教育長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議します。

はじめに、議案第31号「八戸市総合教育センター運営協議会委員の委嘱について」事務局から説明をお願いします。

議案第31号 八戸市総合教育センター運営協議会委員の委嘱について

(河村総合教育センター所長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、議案第31号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

御異議がありませんので、議案第31号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。

はじめに「令和5年9月八戸市議会定例会一般質問について」は、事前に資料が配布されておりますので、委員の皆さんから御意見、御質問がありましたらお願いします。

(小瀬川委員)

10ページ、「コミュニティ・スクールについて」に関して、10月に予定されている文部科学省のコミュニティ・スクールマイスターを招聘した研修会とは、どのような方々を対象に実施するのか教えていただきたく思います。

(梅内教育指導課長)

小瀬川委員の質問にお答えいたします。

当該研修会の参加者は、市教育委員会の教育長、部長、両次長、学校教育課、教育指導課、社会教育課、総合教育センター、こども支援センターの課長及び所長、副参事、副所長、グループリーダー、主任指導主事等、計 35 名を予定しておりました。あわせて、当該研修会は、県教育委員会を通じて文部科学省に申込みをしておりますので、県教育委員会の生涯学習課からも 3 名参加することになっています。

(小瀬川委員)

ありがとうございました。12 月には臨時校長会を開催予定ということで、学校や地域、PTA 等の方々に対して、研修会で学んだことを含めて今後周知する予定かと思えます。平成 20 年度から長い間、地域密着型教育が進められてきたわけですけれども、それに関わる地域学校連携協議会の委員や地域、PTA 等の方々に、変更点を正しく理解してもらうことが信頼関係の構築にもつながると思えますので、開かれた学校づくりをますます推進していただきたいと思えます。

そのほか感想や提案を申し述べたいと思えます。18 ページ、「八戸市博物館展示リニューアル事業について」に関して、丸の 3 つ目ですが、博物館のある場所は津波又は最大規模の降雨があった場合は、江南小学校や橋の辺りも同様なのですけれども、近くに非常に低い土地が多くあります。そのため、指定避難場所が根城小学校や田面木小学校、公民館などになっておりますが、それらの間にちょうど博物館があるので、防災関係の設備の更新という点について、非常に現状に即していると思えました。子どもや高齢者、障がいのある方にも配慮した改修は、非常に大事なポイントではないかと思えますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

最後に 20 ページ、「小中学校の冷房設備について」に関して、先ほど教育長の御挨拶にもありましたけれども、暑さからいかに子どもたちを守るかという点を考えると、特別教室だけではなく、やはり体育館での部活動等に関しても、保護者は非常に不安に思うところもあるかと思えます。そういう中であくまで一案ですけれども、中学校の体育館だけで部活を行うよりも、市内の体育館を併せて利用することで、人数を半分ずつにすることができるようになり、もしかしたら暑さ対策につながるのではないかと私は考えました。現状、利用者が多い場合は、ネットで予約して抽選する形で利用されていると思うのですけれども、東運動公園の中にあるテニスコートに関しては、中総体の 1 週間前などの利用希望が多い日は、未だに保護者の方が朝に足を運んで抽選を受けるという状況です。施設管理をされている会社等の様々な事情があるかと思うのですけれども、もし叶うのであれば、今後休日の部活動の地域移行も見据えて、例えば中総体の前は、市にも要望して、中学校の部活動の時間だけは公平に使えるようにするなど検討してはいかがでしょうか。今あるものを活用してできることはないかを考えていくことで、暑さ対策や、これからますます進んでいく地域移行への一つの支援になるのではないかと私は考えました。

(齋藤教育長)

小瀬川委員から 3 点話がありましたけれども、まず 1 つ目のコミュニティ・スクールについては、委員御指摘のとおり、円滑に導入していくためには教職員はもとより、保護者、そして地域住民にも十分に趣旨及び目的を理解していただいて、一緒になって構築していくことがすごく大事になると思えます。そういったことも含めて、これからしっかり周知していきたいと考えております。

2 つ目の博物館展示リニューアル事業について、事務局から何かございますか。

(小保内博物館長)

どこまで人に対する防災になるかというところもあるのですけれども、基本的には作品、資料をどれだけ守れるかという観点を持ちながら、有事の際は人の命を守るという形での防災設備の改修を考えていましたので、引き続きよろしくをお願いします。

(齋藤教育長)

3つ目、市が管理する施設の開放について、事務局から説明をお願いします。

(八木田教育部長)

ただいま御質問がありました東運動公園内のテニスコートに関して、教育委員会が所管する施設ではございません。おそらく公園緑地課になるのかスポーツ振興課になるのか、いずれにしても市長部局の所管でございますので、本日いただきました意見は要望としてしっかりとお伝えしたいと思います。

ただし、公平性の観点というお話がありましたとおり、中学生に優先して枠を設けていただけるかどうかにつきましては、この場では何とも言えませんが、高総体の時はどうするのか、一般の大会はどうするのかなど、いろいろな課題はあろうかと思えます。そうした中、今後中総体は三戸郡と合同開催することになっておりますので、できるだけ御希望に添えないかということについて、市教育委員会から市長部局にしっかりとお伝えしたいと思います。

(小瀬川委員)

もちろん公民館や運動公園等も、市民全員が公平に使うべき場所であると認識しております。ただし、今後学校を少し離れて部活動が行われるとなったときに、何か少しでも一助になるような取組ができればと思ったところでした。

(齋藤教育長)

そのほか委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

(福井委員)

4ページ、「保護者連絡アプリについて」に関して、いろいろな負担軽減につながっていると解釈をしています。私からの要望ですが、保護者連絡アプリをはじめ、6ページの「自動音声対応機能の導入」に関しても、これからデジタル化の時代になっていくのでしようけれども、デジタル化されるとなんとなく心が通ってないような印象を受けます。教育長の答弁に、「運用に当たり、学校には本アプリの活用だけに終始せず、電話や対面での対応も併用するよう通知した。」とありますとおり、この点は非常に大事なことだと思います。例えば、時間外だから電話が来ても誰も出ないという場合に、保護者や子どもが学校に対して電話によるSOS信号を出したとすると、自動音声だけではとても対応できないので、いろいろな場面を想定して対応していただきたいと思っております。やはり、今後対面して話をすることがむしろ大事になってくる時代だと思いますので、デジタルの発展は活用しながら、そういったことも常に考えるようにしていただきたいと思っております。

(齋藤教育長)

ありがとうございます。この保護者連絡アプリは、2学期に導入してからおよそ1か月経過しましたので、現場の声や現在の加入率について、事務局から説明をお願いします。

(河村総合教育センター所長)

福井委員の御質問にお答えいたします。

学校に対して、6月の校長会にて2学期からの保護者連絡アプリの導入に向けて段階的に進めるよう依頼しました。また、9月7日時点の登録状況についてお伝えいたしますと、市内小・中学校65校に対して現在51校で登録が既に済んでおり、割合として78%の学校で運用が開始している状況でございます。

また、導入後学校からは様々な声が聞こえており、保護者連絡アプリを使うことによって朝の学校への電話連絡が大変少なくなり、先生も効果的に活用しているという状況でした。そのほか欠席連絡以外にもお便り等を電子データで配布することができますので、学校だよりや給食だよりを配布したところ、保護者が夕方買い物に行く際に、明日の給食の献立を参考にしているという話も聞いており、様々な活用の仕方があるということでした。

それから、2学期が始まってコロナの感染者が若干増えているため学級閉鎖の措置をとった学校に聞いたところ、電話による欠席連絡は2件のみであり、あとは保護者連絡アプリによる連絡だったということでした。欠席者が多いと電話回線が混んで連絡を取りづらいという課題があったのですが、そういった課題も解消されているというのが現状でございます。

先ほど福井委員がお話されたとおり、デジタル化により心が通っていないという印象を与えないように、保護者とのコミュニケーション手段全てにICTを活用するわけではなく可能な範囲で活用しながら、しっかりと心を通わせて連携していけるように進めてまいりたいと思っています。

(齋藤教育長)

9月7日現在での登録者数ということでお話がありましたが、保護者連絡アプリとは別に学校安全配信メールというものがあります。こちらは現在、市内小・中学校のうちおよそ96%の加入率ですので、最終的には保護者連絡アプリも100%に近いぐらいの加入率になるのではないかと推測しております。

デジタル化は大変便利かつ効率的でよいのですが、生の声で連絡・相談するという手段をこれからも併用していくよう、市教育委員会側から各学校及び保護者に呼びかけていきたいと考えております。

そのほか委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

(西山委員)

8ページ、「コミュニティ・スクールについて」に関してお話したいと思います。議会の中でも課題や導入理由、導入に向けたスケジュールなど、丁寧に説明していただいていたので非常によかったと思っています。

今後、これまで行ってきた地域密着型教育からコミュニティ・スクールへ移行することについて、学校現場だけではなく保護者や地域住民へ周知していかなければならないと考えています。今後、校長会等で各学校に具体的な内容を説明すると記載がありますが、さらにその後、各学校が保護者や地域住民に説明をしていかなければならないということになると思います。地域密着型教育を導入した際に、市教

育委員会が各学校に赴いて、趣旨等を説明したという経緯もありましたので、今回も可能であれば市教育委員会が学校を訪れて、地域住民や保護者に説明する機会があるとありがたいと考えています。

なお、八戸市内には根岸地区のアスネットねぎし、白銀南地区のみなみネット、長者地区の長者コミュニティといった、ほとんどコミュニティ・スクールに近い形のものがありますので、そういったものを参考にしながら、さらに内容も充実していくように進めていただければと思います。

(梅内教育指導課長)

貴重な御意見ありがとうございます。ちょうど昨日、中学校長会においてコミュニティ・スクールに関して、校長先生に説明をいたしました。また、明日は小学校長会で同様の説明をしていきたいと思っています。

まず10月にコミュニティ・スクールの研修会を、まず市教育委員会の中で行うわけですがけれども、私たちも勉強しながら、学校や地域住民に丁寧に説明していくことが非常に大事だと思っています。今後学校向けにチラシやパンフレット等も作る予定でございますし、委員から御指摘のとおり学校に行って説明することも非常に大事なことでありますので、そういったところも検討してまいりたいと思います。

(西山委員)

今後進めていく上で、新しくコミュニティ・スクールが導入されることにより、学校の先生方の負担感が増えるということがないよう、十分配慮しながら対応いただければと思っています。

(齋藤教育長)

今の市議会においても、これまでの地域密着型教育とコミュニティ・スクールは何が違うのかという視点で質問をいただいております。学校現場や地域住民、保護者の立場からすれば、疑問を持つのは必然的だと考えられるので、そういった部分をしっかり共有できるように周知を図っていきたいと考えております。

そのほか委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

(油川委員)

私からは、15 ページから 17 ページにかけての「STEAM教育について」感想を述べさせていただきたいと思います。八戸市が全国に先駆けて、海洋環境をテーマに海洋STEAM事業に協力し、そして八戸モデルの教材完成を実現させることができたということは大変すばらしいことだと思います。教育長が答弁の中で、「自ら考え、課題を発見し、協同して解決していく力」と述べているように、STEAM教育は主体性を育むことにより自己肯定感が生まれて、そして意欲や粘り強さが活性化された結果、思考力や表現力の向上に繋がっていくのではないかと考えています。これらは非認知能力と呼ばれるものであり、非認知能力を顕著に伸ばすことができる時期は、幼児教育であるかと思っています。したがって、幼児期のうちにSTEAM教育に触れさせることで常に身近にあるものと認識させて、そして小学校に送り出すことができたなら私自身認識を新たにいたしました。今後、市教育委員会のSTEAM教育の取組に注視しな

がら、幼児教育の内容を柔軟に変えていく必要性を実感いたしました。今後何か幼児教育に対しまして、御指導御助言がありましたらどうぞよろしく願いいたします。

(齋藤教育長)

ありがとうございます。STEAM教育について、新聞等でも紹介いただきましたし、またテレビでも紹介されるような場面もありました。これからは県内に留まらず全国に発信して活用いただく、そういう教材になればと期待をしているところでした。まだまだ教材の作成が継続するという事も聞いていましたので、JAMSTECから市教育委員会に依頼があれば、全面的に市としても協力していきたいと考えております。

そのほか委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

[質疑なし]

次に「秋季企画展「掘りdayはちのへー令和元年～令和4年度発掘資料展」について」事務局からの説明をお願いします。

【秋季企画展「掘りdayはちのへー令和元年～令和4年度発掘資料展」について】

(松橋是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

(油川委員)

私からは感想を述べさせていただきたいと思います。今回、是川縄文館と八戸市博物館が連動し、縄文に関する企画展を開催することについて、とてもすばらしいと思いました。博物館のチラシなのですが、大変斬新なデザインだと思います。このデザインを御覧になった方は、今まで興味がなかった方でも、新たに興味を持って足を運ぶ方がいらっしゃるのではないかと思います。

また、是川縄文館の企画展について、10月9日は縄文の日と土偶の日だと思うのですが、その土偶の日当日に土偶マイムの講師をお呼びするというのは、大変な努力がここに込められているのではないかと思います。いかがでしょうか。

(松橋是川縄文館副館長)

講師は、白鳥兄弟という方で、兄弟とは言っても1人なのですけれども、横浜にあるユーラシア文化館に勤務する学芸員の方です。その方のホームページ等を調べましたところ、ちょうどその日に文化館が工事のため休館をしているようなので、たまたま声を掛けたら来ていただけることになったという経緯があります。まさに10月9日に来ていただけるということに、少しびっくりしています。

新しい試みとして「みんなで土偶マイム！」と「土偶マイム！」の2つを並べているのですけれども、「みんなで土偶マイム！」というのは、子どもたちが講師の真似をして、土偶になりきってパントマイムをやってみるといふ参加型の催しになっておりますので、みんなで楽しむ、親しめる企画となっております。また、「土偶マイム！」につきましては、白鳥兄弟のレパートリーが50種類くらいあるとのことですので、この時間を使って披露してくれることを期待しております。

(油川委員)

丁寧な御説明ありがとうございます。先ほど申し上げたように、土偶の日に講師をお呼びできたということで、動画も拝見したのですけれども、本当に楽しくて今までの発想から更に広げられる楽しい世界だと思いました。全国的にも話題性があるって、観光客も集客できるのではないかと思います。これまでの御努力ありがとうございます。

(齋藤教育長)

ただいま、ポスターのデザインの話がありましたけれども、宣伝になりますが、9月の新幹線の観光案内パンフレットの中にも、一枚物では川縄文館の案内が掲載されています。もし新幹線に乗る機会がありましたらどうぞ御覧ください。

そのほか委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

[質疑なし]

次に「秋季企画展「秋季特別展「J-mode 縄文の流儀」について」事務局からの説明をお願いします。

【秋季企画展「秋季特別展「J-mode 縄文の流儀」について】

(小保内博物館長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

(油川委員)

先ほど感想を述べさせていただいたのですけれど、このJ-modeというタイトルは秀逸だと思いますが、このタイトルは皆さんで相談して決められたのでしょうか。非常に心惹かれました。

(小保内博物館長)

実はデザインから全て私が決めたのですけれども、一応10個ぐらい案を出しまして、学芸員や事務も含めて意見を集約して、最後はこのデザインに決まった形になります。ただし、気付いている方もいらっし

やるかと思うのですが、全部実は大文字になっており、MODEという部分までも大文字になっています。これは2000年前の古代ローマ帝国時代のトレジャーフォントというものになりまして、当時は小文字がないので全部大文字になっており、一応そういう部分もこだわりました。

(油川委員)

秀逸で完成度が高く、見ているだけで十分満足いくような印象を受けました。ただし、見るだけではなく足も運びたいと思います。

(齋藤教育長)

そのほか、事務局から報告事項はございますか。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

それでは最後に「その他」に移ります。委員の皆様方から何かございますか。

[なし]

閉 会

これもちまして令和5年9月教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時25分閉会)